

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	びじょん新横浜	公表日	2024/3/30		
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	外部や屋外なども活用して工夫している	小学生は体が大きいので、もう少し広い場所の方が子どもたちが活動しやすい。運動になるとやや狭く、運動が止まる。
	2 利用者や子どもの状態等に対して、職員の配置は適切であるか。	2	3	休みが重なる日もあるが協力し合える職場である	保育に入る職員が足りていない時がある。その程度で改善しているが少ない。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日職員が指図内の清掃を心がけている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	3	2		一部の職員が取り上げられることが多いと感じる
	7 保護者向け研修会により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		
	8 職員の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		意見を出す人、出さない人の差が大きい
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者による外部評価は現在されていない
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を実施する機会が確保されているか。	5	0		参加職員が一部のため、幅広くアップデートする機会が欲しい
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成、公表されているか。	5	0		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		生活など見えない部分も多いと感じる
	15 子ども達の活動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントも実施する等により確認しているか。	5	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援が規定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	チームリーダーが立案し共有する	一部の職員が取り上げられることが多いと感じる 一部の職員のみなので全員で出してチームとなりやすいと感じる
	18 活動プログラムが限定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	21 支援終了時には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28 学校との連携共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の把握等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		
	29 障害前利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30 事業所を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどして連携しているか。	1	3		
保護者への説明	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や指導を受ける機会を設けているか。	2	3		こちらとしては機会が欲しいが電話している。児童発達支援センターと連携する機会が欲しい
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子ども達と活動する機会があるか。	0	5		
	33（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡アプリを通じてやりとりしている	そう思うけど思えない感の差が強く伝え方の工夫が必要
	35 療育の対応が向上を図る観点から、家族に対して事業支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	5	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、相談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		
非常時の対応	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、迅速な対応や予防、連絡体制等の情報を子どもや保護者に伝えて発信しているか。	4	1		
	43 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45 事業所の外に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を営んでいるか。	1	3		
	46 感染症対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか。	0	4	マニュアルはあり職員間で話し合いはある	説明時のみ説明となっている
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え定期的に訓練、抽出その他必要な訓練を行っているか。	0	5		定期的に急は実施されていない
	48 事前に、職業や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか。	5	0		足りないと感じる
	49 食中毒アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	4		足りないと感じる
その他	51 子ども達の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	4		話し合いは行っているが改めて機会を作りたい
	54 子どもの発達にやむを得ず身体拘束を行うなどについて、定期的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3		